

第 26 号

こころ

県P連だより

編集 徳島市北田 宮 1 丁目 8-68
発行 〒770-0003 ☎088-633-1105
徳島県PTA連合会

ホームページ
<http://www.tokukenpta.com/>

信頼回復と全国大会成功に向けて！

徳島県PTA連合会会長 永濱 浩幸

皆様お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

平成二十七年年度の会長を拝命して、永濱浩幸です。拝命した以上は、精一杯、努力をしてやり遂げたいと思っています。行き届かない点があるかもしれませんが、どうぞ宜しくお願い致します。

また、昨年度におきましては、徳島県PTA連合会運営に関しまして、多大なご迷惑、ご心配をお掛けしてしまいました事、そしてご不安な思いや、不信感を与えてしまいました事、重ねてお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

今年度の徳島県PTA連合会役員人事では、会長、副会長、理事、監事の総入れ替えを行いました。新体制の役員が一枚岩となって、引き続き、徳島県PTA連合会執行部に寄せられた不信感の払拭、信頼回復を目指していきます。

さて、私は、PTA活動とは、子どもたちを健全に育成するという共通の目的を果たすため、学校と家庭とが協力し、連携を取り合うことが出来るようにするための活動ではないかと考えております。常に先生方と保護者とがコミュニケーションをとり理解しあい、先生方と保護者とが積極的に前向きな意見を交換しあえるようなPTA活動に

したいと思っていますので、校長先生はじめ、先生の皆様方、どうぞ宜しくお願い致します。また、保護者同士のコミュニケーションも大変重要であると思います。会員の皆様がPTA活動を通じて互いに理解し合えるようになることを考えています。

また、本年八月二十日、八月二十一日と徳島県で第六十四回日本PTA全国研究大会徳島うずしお大会、第四十五回日本PTA四国ブロック研究大会徳島大会を開催します。

子どもたちを取り巻く環境は、目まぐるしく変化し、多くの課題や問題点が生じています。この現代社会において、家庭・学校・地域の連携を深め、私たち大人がその変化に対応出来るよう、家庭教育力の向上、子どもとともに成長しながら歩んでいく為にも、学校教育の充実と、地域の教育力の活用が求められています。それに伴いPTAの果たす役割と期待はますます高まってきています。子どもたちの輝ける未来のために全力で「まけまけいっばいの愛を」注ぎ込むではありませんか。

今こそ、PTAの底力を発揮する時です。徳島県とともに学び、交流し、心をひとつにして、子どもたちの輝く未来のために熱く語り合いましょ。徳島県から全国に向けての情報発信、地

元徳島県で開催出来る歓びと、これまで、多くの諸先輩の導きに感謝するとともに、責任の重大さを自覚して精一杯鋭意努力いたす所存でございます。会員の皆様のご協力無くしては大会の成功は叶いませんので、ご理解と、ご協力、ご参加をお願い申し上げます。

第六十四回 日本PTA全国研究大会 徳島うずしお大会

平成二十八年八月二十日(土)二十一日(日)に第六十四回日本PTA全国研究大会徳島うずしお大会が開催されます。さる八月二十一日・二十二日に開催された札幌大会において県PTA連合会永濱浩幸会長が、大会旗を引き継がれました。会員、皆さまには、全国大会開催にむけ、ご支援ご協力くださいますようお願いいたします。



シンボルマーク

平成二十八年八月二十日(土)
分科会(県内七会場)
第一分科会ー小松島市担当
小松島ミリカホール
第二分科会ー板野郡担当
徳島市あわぎんホール
第三分科会ー三好地区担当
三好市池田総合体育館
第四分科会ー吉野川市担当
吉野川市鴨島公民館
第五分科会ー勝浦・那賀・海部郡担当
阿南市文化会館夢ホール
特一分科会ー鳴門市担当
鳴門市文化会館
特二分科会ー板野郡担当
徳島市あわぎんホール
八月二十一日(日)
全体会(アステいとくしま)

県P連総会

去る六月四日(金)県教育会館において、県P連役員・郡市代議員・表彰者の方々の出席のもと、平成二十八年定期総会が盛大に開催されました。

藤原 陽一会長代行のあいさつに続き、熱心な活動をされた九団体と二十二名の方の表彰と二十七名の方に感謝状が、そしてPTA広報紙コンクールに入賞された七校に感謝状が贈られました。

ご臨席の来賓七名の方を代表して県教育委員会生涯学習政策課課長 永松 宜洋様、県中学校長会副会長 里見 光亮様からご祝辞をいただいた後、後藤 康夫氏の受賞者代表謝辞と進みました。

議事に入り、平成二十六年年度の事業報告・決算報告・監査報告を承認の後、平成二十七年年度新役員が選出され、次に平成二十七年年度努力目標、事業計画、予算案等についての協議が行われ、原案どおり承認の運びとなり、総会を終了しました。

平成二十七年県教育長要望

- ① いじめ・不登校・体罰に関する問題と課題
 - ② 防災・環境整備の促進
 - ③ 児童・生徒の登下校や学校内における安全確保と不審者対策
 - ④ 高校入試通学区域の見直し
 - ⑤ 教育費の確保及び教員の適正配置や資質向上
 - ⑥ 安全な食材の提供と食育指導
 - ⑦ 土曜授業や放課後等の教育支援
 - ⑧ 第64回日本PTA全国研究大会徳島うずしお大会
- 以上の項目について要望をいたしました。

土曜授業について考える

徳島県でも2014年度から、一部の市町村で実施されている土曜授業。会員の皆様がどのような思いでいるのか、PTA会長の方と先生代表の方にアンケートを取らせていただきました。（複数回答可）

(数字は%表示)

<p>☆お様は土曜日をどのように過ごしていますか。</p> <p>(18.9) 部活動 (18.3) スポーツ少年団 (1.5) 学童保育・児童クラブ (5.6) 塾・家庭教師 (18.9) 習い事 (19.5) ゲーム・ＴＶ (17.4) その他</p>	<p>☆土曜授業を実施した方がよいと思いますか。</p> <p>(14.1) 継続して実施した方がよい。 (22.7) どちらかと言えば実施した方がよい。 (22.6) どちらとも言えない。 (15.8) どちらかと言えば実施しない方がよい。 (24.8) 実施しない方がよい。</p>	<p>☆土曜授業の実施回数について考えを教えてください。</p> <p>(12.0) 学期に１回程度 (16.8) 学期に２～３回程度 (24.6) 月に１回程度 (32.5) 月に２回程度 (14.2) すべての土曜日</p>
<p>☆現在の土曜日の過ごし方についてどう思いますか。</p> <p>(24.6) とても充実している。 (38.8) どちらかと言えば充実している。 (23.7) どちらとも言えない。 (11.6) あまり充実していない。 (1.3) まったく充実していない。</p>	<p>☆土曜授業を実施した方がよい理由について考えの近いものを選んでください。</p> <p>(13.3) 土曜日を有意義に過ごせるから。 (34.3) ゆとりを持って学習活動ができるから。 (14.8) 学力が向上するから。 (29.4) 保護者や地域の人が学校に行きやすいから。 (8.2) その他</p>	<p>☆土曜授業についてどう思いますか。</p> <p>(30.3) 学習時間が増え、基礎学力定着に期待できる。 (22.6) 体験学習など土曜日ならではの取組で教育効果。 (14.1) 学校行事を土曜日行うなど新たな取組が評価。 (12.8) 土曜授業にどういった取組がされるかわからない。 (20.2) その他</p>

※土曜授業に対するご意見や、アンケートそのものに対するご意見等、会員の皆様方の熱い願いや想いをたくさんいただきました。
ご意見が多かったものを抜粋して掲載させていただきます。

- 文科省、日本の教育が何を指すのか、県だけの問題ではない。
- 土、日は部活動・社会体育等の試合が入っていることが多く、欠席者数が多いので有効な授業ができない。
- 週5日制が定着しており、今さらの感じが強い。
- 子どもにも学校にも負担がかかりストレスが増える。
- 土、日は家族とのふれ合いの時間にしたい。
- 全員参加の授業を行うことが望ましい。

- 行事を組みやすくなり、授業時数も確保できる。
- 社会体育の過度なスケジュール防止に良い。
- 地域との連携した取り組みを行うことで有意義なものになる。
- 教科の授業を取り組むことができるのであれば学力向上も期待できる。
- 2学期制、3学期制についても再考してほしい。土曜授業と同じく、県下で足並みをそろえるように努力してほしい。
- 補充学習ができる。

2015年度現在で、徳島県内で土曜授業を実施している市町村は、下記の通りです。夏休み等の短縮を計画している市町村もあります。

〔石井町（小・中） 板野町（小・中） 上板町（小・中） 北島町（小のみ）〕
〔松茂町（小・中） 三好市（小・中） 勝浦町（小・中） 〕

今回のアンケート実施にあたっては、その内容について熟考されておらず、少し偏った内容になっていたことをおわび致します。多くの方に熱心なご意見をいただき、会員の皆様方の教育に対する深い想いを改めて感じました。アンケートの回答に関しては、数字が示す考え方と記述が示す考え方と必ずしも一致していないように思います。土曜授業実施に対する迷いや難しさを表しているのではないのでしょうか。一番の主役となるべき、子どもたちの気持ちはどうなっているのかも、気にかかりました。

徳島県PTA連合会
事務局

〒770-0003
徳島市北田宮1丁目8-68
徳島県教育会館内 2 階
TEL(088)633-1105
FAX(088)633-1153

◆事務局の構成
事務局長 広瀬 泰弘

さを感じました。

今回、ご協力いただいた各郡市P連の皆様、貴重なご意見をお寄せくださいました会員の皆様、ありがとうございました。

最後に、広報紙の発行が遅れましたこと、心よりお詫び申し上げます。

広報委員長 久保さとみ
今年度の広報委員会では、昨年度よりの引継事項で、土曜授業に関するアンケートを実施し、結果について掲載させていただきました。様々な考え方はございますが、お互いのコミュニケーションを大切に、それぞれの意見を尊重し合いながら、子どもたちひとりひとりが成長できる教育と願う気持ちを強くしました。

編集後記